

応急仮設住宅における自治会の設立状況について（概要）

今後、長期化する恐れのある応急仮設住宅の生活においては、各団地において入居者が抱える課題等の情報集約を図り、自ら主体的に課題の解決を図っていくことが必要であり、入居者の孤立化等を防止する観点からも、自治会組織の立ちあげを急ぐことが重要である。

こうした観点から、自治会の設立状況について、被災県に対して定期的な報告をいただいているところ。

被災3県における自治会設立状況（2月10日時点）

1. 概要

- ・建設中や住民が少数など、一部の団地を除き、自治会が設立が進んでいる状況。
- ・宮城県では、気仙沼市で仮設住宅が完成し、当該団地の自治会設置はこれからのため、設置率は若干減少。
- ・設立済みの団地数は全体の87.3%となっている。
- ・設立準備中の団地においても、自治体職員やNPOなどが団地に出向き、自治会の必要性などを説明する会を開催するなど、自治会の立ち上げを促している。しかしながら、一部の団地においては、住民との話し合いの結果、自治会を不要とする意見が多数であるなど、により自治会を立ち上げない事例もある。

2. 被災3県ごとの設立状況（地域の自治会への組み込みも含む）

- | | | | |
|------|-------|----------------|---------|
| ・岩手県 | 90.5% | （前回報告時（1/13時点） | 82.9% |
| ・宮城県 | 82.3% | （ | ” 81.5% |
| ・福島県 | 92.4% | （ | ” 89.7% |

※（参考）阪神・淡路大震災の時の自治会設立状況：63.1%（「阪神・淡路大震災に係る応急仮設住宅の記録（兵庫県）」より）

3. 自治会の設立に向けた準備の具体的な状況

- ・自治会設立に向け自治体、関係団体と住民で、自治会設立の説明会を開催している。
- ・準備委員会を設置し、準備委員が設立に向けて動いている。
- ・説明会を開催したが、自治会設立の理解が得られなかったため、再度説明会を開催する予定。
- ・入居後間もない、入居戸数が少数であるため、自治会設置の動きはこれから。（宮城県気仙沼市、岩手県釜石市）

4. 自治会を設置しないと判断した具体的な状況（897団地のうち1団地）

- ・住民と自治会の設置について話し合いをしたところ、自治会不要とする意見が多数（岩手県釜石市）

応急仮設住宅における自治会の設立状況

平成24年2月10日現在

	岩手県		宮城県		福島県		計		自治会設置率
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
設立済み	226	71.5%	237	59.0%	163	88.1%	626	69.3%	<u>87.3%</u>
地域の自治会へ組み込む	60	19.0%	94	23.4%	8	4.3%	162	17.9%	
設立準備中	28	8.9%	66	16.4%	14	7.6%	108	12.0%	
未設置	2	0.6%	5	1.2%	0	0.0%	7	0.8%	
小計	316	100.0%	402	100.0%	185	100.0%	903	100.0%	
建設中又は未入居	3		0		9		12		
合計	319		402		194		915		
(参考)全団地数	319		406		172		897		

※宮城県と福島県では、1団地内に複数の自治会が設立されたり、複数の団地を統合して自治会を設置している場合があるため、合計と全団地数が異なる。